

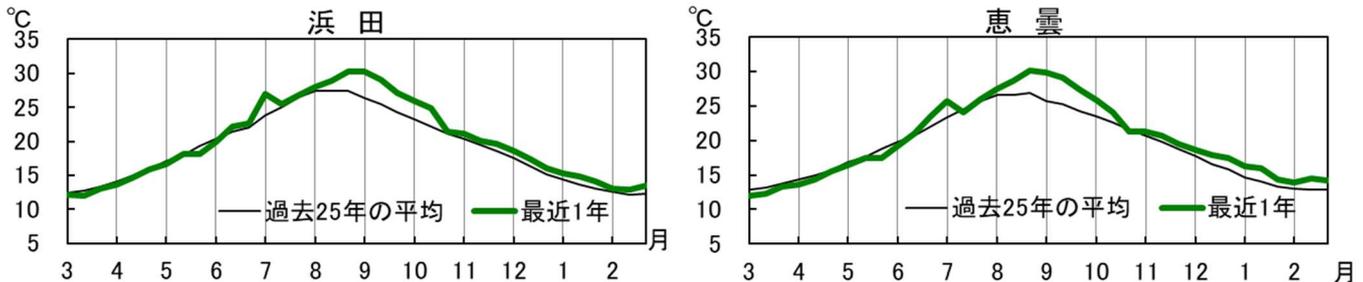


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《2月の海況》



2月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	13.2℃	+0.8℃	やや高め	14.2℃	+1.3℃
中旬	やや高め			はなはだ高め		
下旬	かなり高め			かなり高め		



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区では統計上漁獲がありませんでした。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は110トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは7,569トンで平年の4.7倍、前年の2.4倍、サバ類は303トンで平年の2割、前年の3割、ウルメイワシは207トンで平年の1.3倍、前年の7割、マアジは63トンで平年の1割、前年の2.3倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではヤリイカが主体(全体の100%)で、1隻1航海当りの漁獲量は9.3kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)では漁獲がありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、マダイ、マフグを主体に、1統1航海当りの漁獲量は13.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の2.3倍、マダイは平年の3.1倍、マフグは平年の4割でした。その他、ヤリイカは平年の5.5倍、サワラ類は平年の4.2倍、アナゴ・ハモ類およびアンコウ類は平年の1.2倍と好調でしたが、ソウハチおよびアカムツは平年の6割、ケンサキイカは平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカガレイ、ニギス主体の漁況で、総漁獲量は115トンでした。1統1航海当りの漁獲量は745kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ソウハチは平年の6割、アカガレイは平年の3割、ニギスは平年の1.3倍でした。その他、ヤリイカは平年の2.9倍、マフグは平年の1.5倍、アカムツおよびヤナギムシガレイは平年の8割、アンコウ類は平年の6割、アナゴ・ハモ類は平年の4割、ヒレグロは平年の3割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ、クロマグロ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は9.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、クロマグロは平年の2.7倍、マアジは平年の1.3倍でしたが、マイワシは平年の3割でした。石見地区ではヤリイカ、クロマグロ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は8.8トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ヤリイカは平年の12.8倍、クロマグロは平年の2.5倍でしたが、例年漁獲量の多いマアジは平年の3割、ブリは平年の1割でした。隠岐地区ではスルメイカ、ヤリイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ヤリイカは平年の5.2倍でしたが、スルメイカは平年の5割でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではブリ、ヤリイカ、サワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は30.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の5割、ヤリイカは平年の2.4倍、サワラ類は平年の3割でした。石見地区ではアマダイ類、サワラ類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、アマダイ類は平年の6割、サワラ類およびブリは平年の2割でした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.0kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、カサゴ・メバル類は平年の8割、ブリは平年の2割でした。

【令和8年2月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	8,161トン	173%	185%	110トン	112%	152%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ヤリイカ	28.0 kg	70%	1%	9.3 kg	23%	3%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、マダイ、マフグ	191トン	47%	91%	13.6トン	57%	88%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカガレイ、ニギス	115トン	73%	51%	745 kg	96%	75%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ、クロマグロ、マアジ	85.1トン	45%	47%	9.5トン	30%	39%
	石見	ヤリイカ、クロマグロ	8.8トン	152%	65%	8.8トン	304%	176%
	隠岐	スルメイカ、ヤリイカ	21.1トン	87%	57%	10.6トン	87%	57%
釣り・縄	出雲	ブリ、ヤリイカ、サワラ類	16.4トン	115%	59%	30.1 kg	87%	69%
	石見	アマダイ類、サワラ類、ブリ	6.6トン	28%	37%	17.5 kg	43%	57%
	隠岐	カサゴ・メバル類、ブリ	7.3トン	53%	46%	22.0 kg	55%	66%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ